

職能資格等級定義

	職能資格基準			最短年数	標準年数	最長年数	職位
	等級	業務	能力像				
経営・管理職	7	施設経営管理業務	法人の経営資源の管理に責任を持ち、それらを最大限活用しながら、事業の着実な前進を実現することができる。 法人全体の経営責任を持ち、将来のビジョンの策定ができる。				施設長
	6	監督業務	法人全体の経営企画、経営戦略及びその展開、遂行に積極的に参画することができる。 法人の運営理念や方針を行動で体現し、下級者に対し、適切な助言を行うことができる。		6年		副施設長
監督・指導職	5	指導業務	業務の流れを完全に把握し、現場の業務の遂行において中心的な役割を担うことができる。 日常の様々な場面で的確な判断を下しながら、下級者に対して適切な指導、助言を行うことができる。 上司に対して計画、経過、結果等の報告を適宜行い、承認を得て業務を進めることができると同時に、現場からの企画や改善提案を積極的に行うことができる。		3年		係長
	4	計画業務	上司の指示のもとに業務の企画、立案、調整を行い、計画書や報告書などを作成することができる。 下級者に対して適切なアドバイスができ、現場において積極的なリーダーシップをとることができる。		3年		主任
一般職	3	判断業務	専門的に知識や技術をひと通り習得し、任された業務を効率よく確実に処理するとともに、新たな業務へも意欲的に取り組むことができる。 上司の業務への自主的な協力、下級者に対する指導や配慮などを通じて他者との調和を積極的に図りながら、より働きやすい職場の雰囲気づくりに貢献することができる。	3年	4年	5年	
	2	定型業務	組織の一員として、与えられた職務を指示通りの確にこなすことができる。 法人及び施設全体に関する基本的な知識を備えるとともに、専門的な知識や技術を積極的に習得できる。 将来どのような職種についても適応しうる素地を形成するための努力を継続することができる。	2年	3年	5年	
	1	基本業務	社会人・職業人としての基本行動を身に付け、組織のルールに則って、必要な報告・連絡・相談を実行することができる。 法人の運営理念をよく理解し、利用者の立場に立ったサービスの提供を心がけながら、上司の指示・命令のもとに丁寧に業務を遂行できる。	2年	3年		